

より開かれた議会へ
～富士見町議会 新体制！～

特集Ⅰ

決算

特集Ⅱ

私は この事業
こう評価!!
～決算審査～

議会から町へ提案!

「提言書」

特集Ⅲ



Fujimi

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ

議会だより

No.

188

令和7年11月1日



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

第12回 富士見の日フォトコンテスト・佳作「僕が運転したよ」小口照人

より開かれた議会へ

～ 富士見町議会 新体制！～

富士見町議会は7月20日(日)の補欠選挙で3名の新しい議員を迎え、8月の全員協議会および9月定例会を経て、新体制がスタートしました。「より開かれた議会へ」皆さんの声が町政に届くように気持ちを新たにがんばります！お気軽にお声掛けください。



副委員長

委員長

所轄

総務課 / 財務課 / 建設課 / 産業課 / 上下水道課 / 会計室 / 議会・選管事務局



副委員長

委員長

所轄

住民福祉課 / 子ども課 / 生涯学習課 / 建設課環境係 / 消防課

議会運営委員会	◎山口 肇	○矢島 尚	牛山 吉彦	五味 仙一	西 明子	
議会改革実行委員会	◎牛山 吉彦	○山口 肇	矢島 尚	五味 仙一	西 明子	小倉 裕子
議会広報編集委員会	◎牛山 吉彦	○西 明子	山口 肇	佐久 祐司	川合 弘人	高見 春香
小学校保育園あり方検討特別委員会	◎名取久仁春	○佐久 祐司	織田 昭雄 川合 弘人	山口 肇 五味 仙一	矢島 尚 高見 春香	牛山 吉彦 西 明子

◎委員長 ○副委員長

一部事務組合議会

諏訪広域連合	小倉 裕子	山口 肇				
諏訪広域公立大学事務組合	小倉 裕子	牛山 吉彦				
諏訪南行政事務組合	牛山 吉彦	西 明子	高見 春香			
南諏衛生施設組合	西 明子	山口 肇	牛山 吉彦	五味 仙一	川合 弘人	高見 春香

町民の  が
議会を動かす

残り任期の 決意表明



小倉裕子 議員

笑顔

町民が笑顔で暮らすこと。その一番大切なことを常に胸に置き町民の生活を守ります。

富士見町議会議員の任期は令和9年4月30日までの1年半。町民から託された議員の職責を全うするため、残り任期に向けての決意を各議員が表明します。新たに加わった3名も既存議員も、残された任期にどのような意志や気概を持って臨むのか、そして選挙時に町民の皆さんにお約束した『公約』をどのように具現化するのか。短い言葉に込めた議員の決意表明を感じ取ってください。



牛山吉彦 議員

熱意

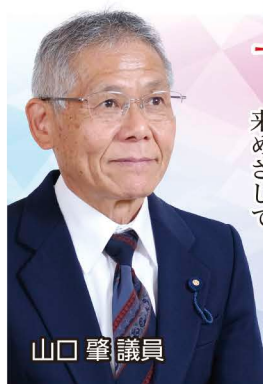
町民や議員間の対話を絶やさず、議員としての職責を情熱と意志をもって果たします。



織田昭雄 議員

継続

新しい町づくりへの夢を実現する為に歴代首長の功績にさらに積み上げ政策の実現。



山口 肇 議員

平和

戦後80年の今年、不戦の誓いを新たに。子どもたちの笑顔が輝く未来めざして。



矢島 尚 議員

果敢

町民の「声を」一つでも多く、町政に反映出来る議員であるために「声を」つなぐ。



佐久祐司 議員

共創

共創の力で環境を守り、子どもを育み、みんなで未来を築くまちづくりを進めます。



川合弘人 議員

未来

住み慣れたまちに安心と活力を。未来への希望を胸に、全力で取り組みます。



名取久仁春 議員

継続

70周年の町政転換期に改めて、事業の見直しに取り組み町政の継続に努力します。



五味仙一 議員

柔軟

多様化する住民ニーズへ丁寧な意思疎通を図り、守るものと変えるものを臨機応変に判断。



高見春香 議員

茜色

夕日で茜色に染まる空のように心を燃やしてみんなの笑顔を守りたい！



西明子 議員

希望

初心を忘れず、勇気と未来への希望（ワクワクする気持ち）を持って邁進します。

考えよう

決算

私はこの事業

こう評価!!

『考えよう、決算』では、決算審議全般の中で各議員が質問したなかから、特に
関心のある項目を一つ、事業実績と照らし合わせ評価をお伝えいたします。



決算審議の様子

避難計画

「要支援者個別避難計画」の 作成上の課題は

令和6年度「要支援者個別避難計画」の作成が、予定の8割に留まった原因と今後の見通しは？



山口議員

町からの回答

課題として、高齢者については介護度の進行や入所等による変化、障がい者については受入れ施設が少ない等がある。ケアマネ等と連携し作成に向け努力している。

こう 評価

令和7年度には、要支援者全ての「個別避難計画」が作成され、安心安全な避難支援ができることを期待。



住宅

住宅、省エネリフォーム 補助金統合に向けて



西議員

R7年度末で一区切りとなる住宅、省エネリフォーム補助金。傾向と今後に向けた方向性は？

町からの回答

「住宅リフォーム」はコロナ禍の個人事業主支援の目的もあったが一区切りした。毎年、当初予算を越える申込みで随時補正で対応し、肥大化している。方向性は検討中。



こう 評価

住宅リフォーム補助金も一定の役割を終えた。温暖化対策など時代のニーズに応える補助金の検討を！

観光振興

前年度、訪れた観光客は 951,287 人



矢島議員

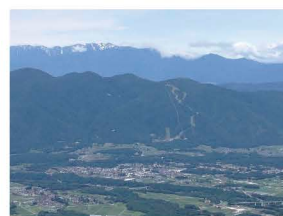
観光客数の把握はどのように
人数を割り出しているか？

町からの回答

エリアごと算出。入笠エリアはパノラマとカゴメ。ハヶ岳エリアは、高原リゾート、おっと亭、立場川キャンプ場、道の駅、アルパカ牧場の利用者。

こう 評価

2大リゾートを核とした誘客、無料キャンペーンの拡充。静岡県民、友好都市に新たに町民を加えた事は評価。



海外派遣

未来のための中高生 ニュージーランド派遣



高見議員

決算額が少なくなった理由は？富士見
独自の体験プログラムの継続は？

町からの回答

来町予定の交流生が来られなくなったため減額に。ニュージーランドをよく知る方が加わり、独自プログラムも含めた事業継続が可能。



こう 評価

多様な考えに触れることができる良い事業。対象が高校生まで広がったことに評価。高校生の需要に合わせ募集人数の増加に期待。

災害復旧

2024年8月7日 豪雨災害対応



名取議員

昨年8月に発生した集中豪雨による災害で復旧を要した件数と概算費用は？

町からの回答

町対応の工事と、資材支給対応を合算すると
道路復旧：45か所…約2,000万円
水路復旧：17か所…約1,800万円
その他(林道、河川)：5か所…約230万円

こう 評価

災害対応については翌日から交通止めの対応から、現地確認ときめ細やかな対応をいただき感謝する。



農地維持

小規模集落の農地を どう支援するか

川合議員



町の独自事業である「富士見型農地維持活動支援モデル事業」は5年が経過した。成果と今後の見通しは？

町からの回答

8集落で活動を開始した。松目は活動

休止だが、復活の方向だ。活動期間はおおむね3年間。延長も視野にある。その後は国の多面的事業への移行を目指す。



こう
評価

中山間や多面的などの国支援事業に取り組めていない集落を、町がバックアップ。農地維持につなげている。

子育て

保育園の未満児 受け入れ体制

佐久議員



未満児の入所希望が増加している。保育士の確保はできているか。また入所希望に応えられているか？

町からの回答

近年1歳児の入所希望は増加。未満児の場合、保育士が多く必要

となるが保育士の確保はできている。4月時点で希望者は全て入所できている。



こう
評価

どこの自治体も保育士の確保に苦労している。保育士を確保し、未満児の入所の希望に応えていること評価。

保健衛生

予算承認済みのうち 不用額の内訳は

牛山議員



予防費：2,829万円(47.8%)・母子保健衛生費：341万円(36.5%)と委託料の不用額が多いがその理由は？

町からの回答

予防費は、新型コロナウィルス予防

接種の実績が見込みより大幅に少なく、母子保健衛生費は出生数が見込みを下回り妊婦検診等の実績が少なかったため。



こう
評価

不用額(率)が目立ったが、予防接種や健診等の実績に近い見積りは必要なこと。出生数減少は危惧している。

定住促進

新築補助金65名・ 空き家改修補助金17名

五味議員



交付要綱に年齢要件があり、生産年齢人口増加に直接影響する補助事業と考えるが、年度目的は達成できたか？

町からの回答

45歳以下の新築住宅に対する補

助金21件65名、50歳以下で空き家を住居改修する補助金8件17名合計82名、総額2,950万円の補助金交付により移住定住促進に繋がった。



こう
評価

社会動態の改善、生産年齢人口の増加と活力の増進、継続的な定住促進などに貢献する価値ある事業である。

私たちが

決算報告

令和6年度 決算審査結果

「将来を見据え計画的な財政運営」



織田 昭雄
監査委員(議会選出)

里見 孝明
代表監査委員

令和7年6月20日から6月26日までの5日間にわたり審査した結果、各会計の予算は適正に執行されているものと認めます。

令和6年度一般会計決算は「コロナ禍を乗り越え力強く踏み出す大型積極予算」とし過去最大の大型決算となりました。

歳入では、地方交付税、ふるさとみらい寄附金、企業版ふるさと納税の増額に加え、国民健康保険特別会計繰入金により対前年比116.8%でした。歳出では、小学校へのエアコン設置工事、富士見小学校児童クラブの新築、橋梁維持管理事業、上水道第6水源の建設工事などインフラ整備による大型事業により対前年比118.9%ですが、適正な財政運営が行われていることをご報告いたします。

今後も、財政負担の軽減・平準化や行政サービスの水準の確保に向けた計画的な財政運営を期待いたします。



令和7年提出

提言書

一部を抜粋掲載

各議員からの提言候補は

21項目

- 森林環境譲与税の有効活用
- 富士見パノラマスキー場ゴンドラ料金の町民通年無料化
- 学校給食費補助金の継続

 などなど、沢山の
アイデアを議論


全議員が合意した

3項目に絞り込んで提言

提言 1

集落内道路の整備

- 1 計画的整備の周知徹底と推進 … 丁寧な説明と確認
- 2 町単補助町道改良補助金額の拡充 … 上限額を現行の50万円から100万円に引き上げ

期待される
効果

- 集落の負担軽減
- 集落の生活環境の維持向上による地域の定住促進
- 集落内道路の整備促進
- 道路整備に伴う地域景観や町のイメージ向上

提言 2

町民センターの施設整備

- 1 トイレの老朽配管の改修および便器・床・壁など衛生施設の更新
- 2 入口周辺の整備や必要な設備導入 … 入口のバリアフリー化、冷房設備やダンス用鏡の設置、国民スポーツ大会等に備えた計画

期待される
効果

- 町民センター利用者の利便性向上
- 施設イメージ向上
- 衛生環境の改善
- 全国からの来訪者への快適な環境を提供

提言 3

山岳観光促進のためのトイレ整備

- 1 不動清水のトイレ改修 … 環境に配慮した施設への建て替え
- 2 登山口から不動清水周辺の環境整備 … 登山口や登山道（編笠山方面）の整備、美濃戸口・観音平口に次ぐ富士見口の周知のための施策

期待される
効果

- 登山客の満足度向上
- 八ヶ岳周辺の環境整備
- リピーターを含む登山客の増加と登山口の認知度向上
- 八ヶ岳観光の強化



議員全員が同意できる
提案になるまで話し合いを重ね
提言を作りあげる



令和5年 提出提言

反映結果

提言1 町内外への情報発信強化のためのコミュニケーションチーム新設

「地域力創造アドバイザー」(富士見町出身)の監督のもと3年計画で『まちづくりブランディング事業』を展開

- 1年目(R6年度):「分析と検討」キャッチコピーとロゴを制作
- 2年目(R7年度):「発信と認知」富士見をイメージできるポスターを制作中
- 3年目(R8年度):「行動変容」ブランディングの継続性を定着化へ



提言2 エコライン延伸

町だけでなく、茅野市・原村・富士見町の建設部局で政策的な道路行政に取り組む枠組みを立上げ、県に働きかける中で県にもその取り組みに参加してもらっている



提言3 水田活用の直接交付金支払要綱の見直し

町独自で令和5・6年に県や国に要望書を提出、全国各地から要綱改正の要望を受けて、農水省は令和7年1月に既存の水田政策について令和9年度から抜本的に見直すとの発表



令和6年 提出提言

進捗状況

提言 空き家対策（調査と課題に対する解決策）

- 集落支援員を1人増員して、調査に入った。
- H27調査と同じ手法(空き家の可能性が高い家屋について、水道メーターの利用状況などを調査して抽出)
- 水道メーターの利用状況以外にも、固定資産情報や所有者・相続者に対して直接連絡を取り確認する方針。
- 空き家活用の可能性があれば、ウツリスムステーションとの共有や宅建業者・HPなどとの情報連携に繋げていきたい。



町の考えを問う

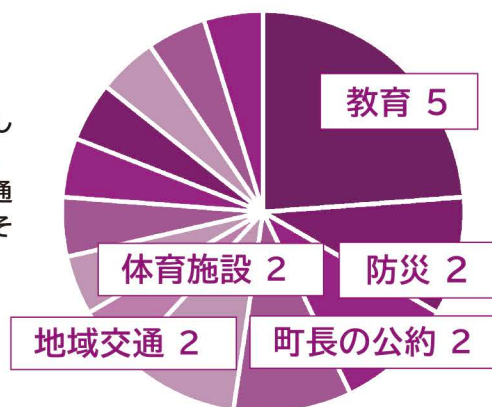
9月定例会の一般質問は9月16日・17日の両日行われました。8人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は各議員の質問と行政側答弁を合わせて1時間で、通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



一般質問の映像はコチラ



一般質問で取り上げられた主なテーマ



質問順

1

やまぐち はじめ
山口 肇

議席 2

1. 平和教育について
2. 中学校部活動の地域展開について
3. 住民参加の町づくりについて

9月16日

2

やじま たかし
矢島 尚

議席 3

1. 夏期利用の屋内体育施設について
2. 教育施設及びそれに関連するスポーツ関係の用具について
3. 道路維持管理について

3

たかみ はるか
高見 春香

議席 9

1. 公共交通とスクールバスについて
2. 子どもたちが心から安心して通える学校づくりについて

4

うしやま よしひこ
牛山 吉彦

議席 5

1. 地域交通の現状分析と将来像について
2. 富士見町子ども未来プロジェクト会議（仮称）について
3. 人口減少対策について

5

にし あきこ
西 明子

議席 10

1. 町全体で取り組む特色ある教育づくりについて
2. こども・若者の意見反映について
3. 小中高校生の居場所について

6

かわい ひろと
川合 弘人

議席 6

1. 満蒙開拓の歴史と小中学校の平和教育について
2. 第三セクター「富士見パノラマリゾート」の経営と町の関わり方について
3. 町政運営の基本姿勢と優先施策について

7

さきゅう ゆうじ
佐久 祐司

議席 4

1. 防災における消防団、防災士の役割について
2. 第一次避難所の役割と設備・防災備品について

8

おだ てろお
織田 昭雄

議席 1

1. 町長より示された政策提言について
2. 第6次富士見町総合計画について

9月17日

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

中学生の広島修学旅行に、町の支援はあるか

答弁 町の平和教育推進事業の補助として支出



やまぐち はじめ
山口 肇 議員

Q 今年の戦没者追悼式に3年生全員参加していたが、自主的な参加か。

A 特に平和教育は、個々の感じ方の違いを尊重する学習である。今回も自主的な参加だったと考えている。参加を義務づけるようなことはあってはならない。

Q 平和教育について町長の考えは。

A 子どもたちが歴史を正しく学び、平和の尊さを自らの言葉で語れるようになることは、未来への投資であり町の責任でもある。

■中学校部活動の地域展開

Q 楽器の購入や補修の予算が課題となる自治体もあるというが、町の対応は。

A 今後も学校備品として楽器の整備や補修のための予算確保をしていきたい。

Q 地域展開のためには、指導者確保以外にも検討すべきことがあるのでは。

A 地域全体で子どもたちの活動を考えていくために、地域移行連携協議会の参加団体等を広げていく必要性もある。

■住民参加の町づくり

Q 中学校橋整備計画をめぐる一部住民との意識のズレの原因は。

A 町の財政状況の全体像を十分お伝えできなかったことが一因と考える。

Q 今後、住民参加の町づくりをどう進めるか。

A 行政には、できる限り多くの住民の理解と納得を得る努力をすることが求められる。正確でわかりやすい情報発信を出発点に、住民の声を丁寧に受け止めながら、現実的で持続可能な町づくりを進めていく。



第61回富士見町戦没者追悼式

屋内体育施設に冷房設備の導入を

答弁 今後の課題として捉えている



やじま たかし
矢島 尚 議員

Q 簡易エアコンや大型扇風機の導入の考えは。

A 学校からの要望があれば導入の検討をする。市民センター、海洋センター、第二体育館の社会体育施設には冷房設備等は備えていないため、なんらかの冷房設備の検討も必要であると考えている。体育館を利用する児童生徒、一般利用の方の健康面においても空調管理は、太陽光発電設備の導入と共に今後の課題として捉えている。特に体育館は教育施設という機能に加え、避難所としての機能向上も図っていかなくてはならない施設。避難所としての空調管理の課題は能登半島地震でも浮彫になった。

Q 体育館の屋根へ太陽光発電設備設置を。

A 太陽光発電設備を検討する優先順位としては、まずは、富士見中学校の校舎及び体育館の屋根について来年度以降、太陽光発電設備の設置を具体的に検討始める。

Q 延床面積削減の今後の方針は。

A 令和3年度に策定した改訂版の公共施設等総合管理計画では、スポーツ・リクリエーション系施設の中で海洋センターについては、耐用年数の期限となる2046年に解体する方針を明記している。体育館は避難所としての機能を備えているので多角的な視点での検討が必要。公共施設の在り方については将来の利用状況見込みや財政シミュレーションの状況など総合的な視点をもって課題を先送りすることなく判断する時期にきている。



移動式簡易エアコン

スクールバス整備についての考えは

答弁 子どもの生活多様化もあるので検討を進める

Q 助けを借りず、好きなときに1人で外出、家族や隣人に頼らない自立心は心身の健康にとって大切。免許を持たない学生や高齢者の移動・外出のための土日祝日のデマンド交通運行の考えは。

A 土日運行や学校の長期休業に、若い世代も利用しやすいよう、オンラインで予約できる仕組みも含め検討していく。

Q 24時間アプリ予約、電話予約もできる、最適運行ルートをAIが導き出してくれるシステムの導入が必須だと考える。近隣市町村と連携することで経費削減の効果が見込まれるが、茅野市・原村で運行しているAIオンデマンド交通「のらざあ」のシステムを導入する予定はあるか。

A 住民対話集会で意見を伺い「のらざあ」も一つの選択肢として検討していく。

■心から安心して通える学校づくり

Q 本気でいじめを減らそうと考えるなら加害者の心のケアが必要だと考える。誤った行動へ走ってしまう子どもたちを、再びいじめ加害へと向かわないよう支援するために専門家による心のケアに力を入れていく予定はあるか。



たかみ はるか
高見 春香 議員

A 背景・感情のコントロールの仕方を踏まえ、スクールカウンセラーや医療など必要なケアに繋ぐ。再発防止として学校や関係機関、支援者で見守り、行動の変化を認めていく声かけなどを丁寧に行っていく。より専門的なケアが必要な場合、各機関と連携して必要な支援に繋がるよう取り組んでいきたい。



バスがあれば社会が変わる

町長が考える人口減少対策は

答弁 危機感を共有し『選択と投資』バランスよく

Q 前町長の「すべての施策が人口減少対策に繋がる」は踏襲するのか。

A 生産年齢人口の減少による税収減&担い手不足と、老朽化する公共施設やインフラ維持のための支出増加という二重の負担が、今後の町政を圧迫すると考えている。現状施策の継続だけでは少子高齢化と財政難を避けられないため『選択と投資』をバランスよく行うことが必要。

Q 具体策は。

A 選択は既存事業の棚卸しや公共施設等の維持管理のあり方を住民と検討し余力を生み出し、投資は若い世代が「帰りたい、住みたい」と思える環境整備のため仕事・住まい・教育など基盤整備に注力。

Q 気運を高めることが肝要では。

A 危機感を自分事として感じその解決策として移住定住施策があることを理解してもらうような気運の高まりも大事。何よりも大切なのは移住者と受入れる側がお互いの違いを乗り越えて共に地域を支えていこうとする気運。移住が地域の負担にならないよ



うしやま よしこ
牛山 吉彦 議員

うに、町がしっかり伴走し、情報発信や支援を行うことが必要。

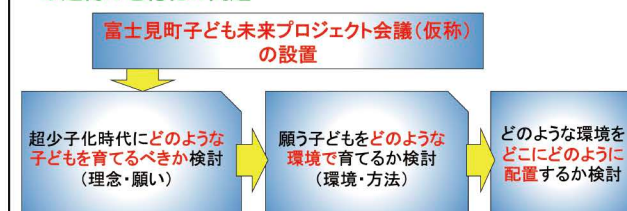
■富士見町子ども未来プロジェクト会議(仮称)

Q 教育長が考える理念とは。

A 「日々明日を楽しみにする子どもの育成」を理念に掲げてこれまで取り組んできた。それを柱に「これからの富士見町の子どもにとって何が最適なのか」を町民と一緒に考え、対話を通して日々アップデートしていきたい。

◆超少子化時代に向けての教育の在り方の検討

- 出生数は1学年50人前後に(10年前100人以上)
- 小学校は各学校1クラス時代に
- 建物の老朽化の問題



令和6年度住民懇談会資料より

就任前に掲げた公約をどのように取り組むか

答弁 これから各課と丁寧に検討していく段階



にし あきこ
西 明子 議員

■富士見高校全国募集

Q 公約に「富士見高校全国募集」とある。町は富士見高校の設置者ではないが、どのように進めていくつもりか。

A 仮にこの検討を進める場合には、県の教育委員会、近隣自治体、地域住民や生徒、保護者、学校関係者との丁寧な話し合いが不可欠。ただ、現段階では、まだ町長と県教委と話す機会が持てていない。関係者との調整が済み次第、町長が方針を決め、次の段階に移っていく。

■小中高校生の居場所

Q 現在、民間団体の居場所運営支援の状況は。

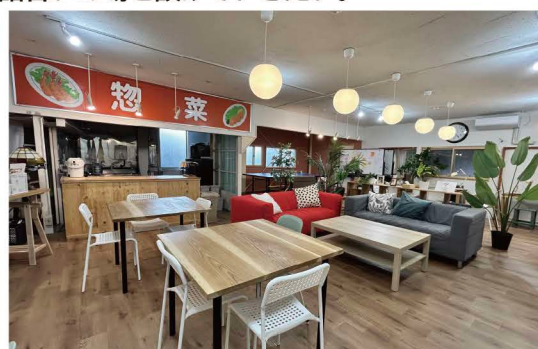
A 「居場所づくり開設等補助金」を設けているが、運営の継続支援については今後検討していきたい。居場所スタッフの研修等、ソフト面での支援も継続していく。

Q 町長選前の公開討論会や公開質問で、こども家庭庁「地域こどもの生活支援強化事業」の予算を活用したいと答えていたが、これについては。

A 町としてはこれから検討するため、現時点で方針は示すことはできない。

Q 部活動地域展開に向けて中高生を対象にした民間の居場所とも連携できることがあるのでは。

A 部活動の地域移行が始まれば部活の開始時間までの居場所が必要となる。県の連絡協議会でも、他の市町村で居場所の確保が課題という意見が挙げられた。既に運営されている富士見の「ふらっと」「ユースセンターまるいち」原村「はらっば」などに声をかけ、力を借りながら話し合いの場を設けていきたい。



中高生の居場所ユースセンターまるいち

満蒙開拓の歴史を平和教育に

答弁 地域の課題とし少しずつ学ぶことが望ましい



かわい ひろと
川合 弘人 議員

Q 富士見町に関わりの深い満蒙開拓の歴史を取り上げ、子どもたちが学ぶ機会をつくる考えはあるか。

A 富士見町に愛着を持つ意味でも、とても大切な学びであると考えている。満蒙開拓に関わる事象は、歴史上の複雑な側面があり、当事者の様々な思いを汲み取りながら行う必要がある。学校現場での教材化は、丁寧な素材、教材研究とともに配慮を要する。すぐに進めることは難易度が高い。校長講話などで概要を説明しつつ、地域の課題として学ぶことが望ましい。

Q 証言や記録を学校教育の教材として活用できるように整理、提供する取り組みを進める考えは。

A 興味・関心を高めた児童生徒がさらに深く研究していくことができるよう、情報提供をできるようにしていく。

Q 町が小中学校の平和教育、郷土学習を積極的に支援する考えは。

A 支援の依頼があれば相談対応している。これからも継続的な支援を行っていく。

■第三セクター 「富士見パノラマリゾート」

Q 老朽化が進んだ施設の更新で、将来の投資をどのように財政計画に位置づけていく考えか。

A 優先順位を定め、施設更新や投資計画を策定する。一定の方向性が整った段階で改めて説明する。



富士見駅前での満州移民先遣隊家族の出発式

消防団、防災士による地域防災の取り組みは

答弁 消防団は現場対応、防災士は地域防災の推進

映像はこちら



さきゅう ゆうじ
佐久 裕司 議員

Q 防災における消防団と防災士の役割の違いは何か。

A 消防団は、地域防災の要として火災対応のみならず、災害のおける人命救助救出、避難誘導、警戒巡視、災害広報や情報収集など多岐にわたる。防災士は地域防災の中心的な担い手であり、自主防災会とともに、地域の防災体制を支える中心的な役割。

Q 町内在住の防災士の活用はできているのか。

A 今年6月に富士見町防災士連絡会を設立した。地区ごとに活動する防災士同士がネットワークで繋がり、活動状況や課題を共有し合うことで新たな気づきを得ること、研修や視察を通じて防災士の力を高めることを目指している。自主防災会では役員の任期が短く、継続的な活動や組織力の強化が課題であり、防災の専門的な知識と経験を持つ防災士が関わっていくことは、地域の防災力を大きく高めることに繋がる。

Q 今後、消防団や防災士をどのように活用し、町の防災を進めていくのか。

A 消防署などの常備消防や消防団の活動に加え、自主防災組織や防災士による取り組みを進め、災害対応力を強化していく。消防団は引き続き訓練や研修を重ねることで、災害時における現場対応力を高め、いざというときに安全かつ迅速に活動できる体制を整えいく。防災士は、自主防災会と協力し、住民の防災意識を育てる活動や地域の実情に合わせた訓練対策の推進に力を発揮することを期待する。



秋の防災訓練の様子

最優先して手を付ける公約は

答弁 「対話から作る行政改革」を実行する

映像はこちら



おだ てるお
織田 昭雄 議員

Q 最優先して手を付ける公約は。

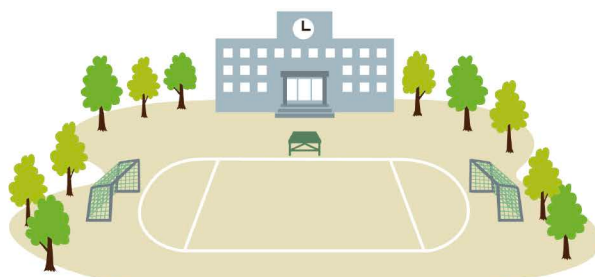
A 8つの約束は対話集会や個別に住民の皆さんと話した中で住民の生活に直結する緊急性の高い課題と判断した約束であるが、初めに着手したいのが8番目の「対話から作る行政改革」である。新たな事業を行うには財源や人材確保が不可欠である。その為に既存事業の見直しや効率化を行い、余力を生み出す事が最初の一步と考える。

Q 町長が考えるベストな行政区への入区促進策は。

A 移住者の中には区加入を望まない方もいる。地域の方に移住政策を受け入れて貰う為には、移り住んで来る方に富士見町の暮らしや文化・景観を支える集落の重要性を理解して頂きその一員になって頂ける様な施策を強化すべきと考える。一つ目は移住サポーター制度の創設、二つ目は多くの方が参加し易い区政の見直し。参加のハードルとなる仕組みの改善についても話し合いの機会を創るべきと考える。

Q 中学校橋の人道橋架け替え計画の現状は。

A JR委託で実施設計の中で、電力設備の移設が当初の予定より大きな工事が必要となり、工期の大幅な延伸、設備の詳細設計をしなければ工事が進められない状況が明らかになった。今後設計費や電力設備工事に多額な費用が必要となり、補助金申請手続きに時間を要するとともに約10億円規模の投資が必要。地元区の皆さんや議会にもしっかりと説明し、今後の方向性を慎重に議論していく。



未来の町づくりと小学校の統廃合は慎重に

VOICE

オープンミーティングを開催します

おぐら ゆうこ
議長 小倉 裕子



町民の皆さまには、日頃より富士見町のまちづくりに温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

私たち議会は、町民の代表として皆さまの声を町政に反映させることを第一の使命としております。

少子高齢化や人口減少など、私たちの町を取り巻く環境は決して容易なものではありません。しかし、富士見町には、豊かな自然、歴史と文化、そして何よりも温かい人と人とのつながりという大きな力があります。こうした財産を生かしながら、住みやすく安心できる地域づくりを進められるよう議員は日々活動しております。

今後も、議会が皆さまにもっと身近に感じていただけるよう、議会でどんな議論をしているのかをわかりやすくお伝えするとともに、直接ご意見をいただける場をつくり、どの世代の方でも気軽にご参加いただけるよう工夫を進めて

まいります。

つきましては、例年開催しております「オープンミーティング」を令和8年2月に開催いたします。現在富士見町のホットな課題を選定中ですが、皆さまから「議員と、このことについて話し合いたい」等のご意見をいただきましたら、大変幸いです。実りある会となりますようご意見をお寄せいただくとともに、ご参加くださいますようお願いいたします。

議会は町民の声で動きます。これからも議会は町民の皆さまと歩みをともにし、子どもからお年寄りまで、誰もが「この町に住んでよかった」と思える富士見町を目指してまいります。どうぞ今後ともご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

TOPICS

12月定例会から議場にモニターTV導入

富士見町議会では議会改革の一環として『デジタル化の検討』を行ってきましたが、来る12月定例会から議場にモニターTVを3台配置し、一般質問での活用を開始します。

モニターTVに投影するのは画像やグラフなど一般質問の内容を補佐するもので、町側との共通認識を助けるだけでなく、傍聴や動画配信をご覧になる方に対しても視覚的効果が期待できます。

「富士見町議会一般質問における議場モニター使用基準」に基づき運用を始めますが、町民の皆さまには議場や動画配信でご確認いただき、ご感想やご意見をお寄せください。



『デジタル化の検討』進捗

1. 議案や資料のデジタル化、議場でのデジタル機器使用	R7.3月定例会から導入済み
2. 一般質問でのモニター使用	R7.12月定例会～
3. 全員協議会や委員会のオンライン開催	検討中

定例会

第545回

令和7年9月

9月定例会は9月11日から10月3日の会期で開催され、補正予算や条例改正、令和6年度一般会計決算、特別会計決算、人事案件等、22議案を可決、認定、同意等しました。

決まったこと

財産取得

6,075万円



GIGAスクール用 タブレット端末

町内小中学校児童生徒用1,143台と教職員用72台を県の共同購入により取得。画面保護フィルム含め1台当たり46,596円。

条例改正



給水条例・下水道条例

災害時その他の非常時には、町内業者に限らず、他市町村長が指定した事業者による設備工事を可能にする規定を追加。

指定管理



楽酪ミルク工房の ワイナリー指定

YOSHIJI VINEYARDS株式会社により令和7年10月10日から令和20年3月31日まで、ワイナリー設置。光熱費、上下水道料は事業者負担。

補正予算

1,760万円



支障木の伐採

町道3線(高森広原線、テクノ街道、机烏帽子線)の支障木の伐採。年内に着手し、年度内に完了する予定。

補正予算

958万円



海洋センターの 上水道改修工事

6月定例会の補正予算で実施された漏水調査により漏水箇所が特定された。それに伴う水道管の改修工事費用。

補正予算

110万円



国の史跡指定 記念事業

曾利遺跡の国史跡指定を記念して実施する事業。記念講演、記念品製作やブックレットの発行、宣伝広告費等。

採決結果 (賛否が分かれた審議)

動画はこちら



議案名等	議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	佐久 裕司	牛山 吉彦	川合 弘人	名取久仁春	五味 仙一	高見 春香	西 明子	採決結果
【町長提出】 ○賛成 ●反対 ※棄権 - 欠席												
【議案第 14号】 令和6年度 富士見町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
【反対意見】 中学校橋の詳細設計により、予定していた経費や工事期間に大幅な変更が必要になった。予算執行により明らかになった事実は、早急に住民に知らせることが必要。正確で丁寧な情報公開が年内に行われることを要望する。												
【町長提出】 ○賛成 ●反対 ※棄権 - 欠席												
【議案第 15号】 令和6年度 富士見町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
【反対意見】 物価高騰の社会状況に関わらず、国の方針に基づいた保険料統一に向け、保険料を上げていることに反対。制度の趣旨から国による大幅な財政支援が必要。												

審査のなかみ

委員会で審査された内容

総務経済常任委員会

楽酪ミルク工房のワイナリー指定

- Q 賃貸契約ではなく、指定管理にする理由は？
 A 単なる営業ではなく、ワイナリーの開放日や直売所を実施など町民に還元できるようなイベントを検討している計画であるため。

公用車カーナビのNHK受信料支払い

全国の自治体で未払いが発覚する中、町も再調査を行った結果、未払い受信料が過去分を含めて199万円。

- Q 購入時には把握できなかったのか？
 A 自動車契約時に受信料を契約していなかったことが原因。個人と違い事業者は1台毎に支払い義務がある。

ふるさとみらい寄付金

ふるさとみらい寄付金が当初予算より大幅に増額になったため、事務経費を増額(9,725万円)

- Q 寄付金の増額はポイント廃止に伴う駆け込み需要と考えられる。10月以降は減額になるのではないかと？
 A 令和5年に制度改正があったが、それ以降も減らずに推移した経過を考慮すると、同様と考える。

社会文教常任委員会

海洋センターの上水道改修工事

- Q 6月の補正予算では間に合わなかったのか？
 A 6月は漏水調査と仮設工事をした。9月補正予算をもって仮設から本工事へ移行する。

国の史跡指定 記念事業

- Q 国からの補助金はあるか？
 A 補助金はないが、遺跡の重要性を発信する良い機会。事業内容を絞って講演会、記念グッズ販売など行っていきたい。

GIGAスクール用タブレット端末

- Q 第1期と2期で購入先が異なる理由は？
 A 1期は国の方針で至急整備をしなくてはならなかったため地元企業のエプソン。2期は県による共同購入でキッセイコムテック。
 Q メンテナンスの補償は？
 A 落下や故障のための保険で対応している(1回5万円まで)。

GIGAスクール用タブレット端末

- Q 前回購入しなかった先生用端末を今回購入する理由や経緯は？
 A 今回は先生用の購入が前提になっている。
 Q 購入元がキッセイコムテックになった経緯は？
 A 県が共同購入するため同社との随意契約となっている。

みなさんのお声を聴かせてください。

△切り取り線▽

<切り取り線>

みなさんの声を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。

議会へ声を届ける方法



郵送
(上部ハガキ)



入力
フォーム



<https://logoform.jp/f/ACVfo>

本会議における質疑

楽酪ミルク工房のワイナリー指定

- Q ワイナリーとして活用する理由は？
 A ハケ岳西麓ワイン特区の認定を受けたことや町としてワイン用ブドウを成長農産物として育てる方針であることに加え、楽酪ミルク工房が使われていなかったため。
 Q 施設を名称変更する予定は？
 A 公の施設としての名称「楽酪ミルク工房」は当面変更しない。

長野県諏訪郡富士見町落合 10777
富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより（匿名）で掲載させていただく場合があります

☐ 許可する ☐ 許可しない

< 切り取り線 >

TOPICS
来て 出会う 聞いて 言えて
よかった！
第7回 オープン
ミーティング開催

令和8年 2月14日 土

時間 13:30 ~ 15:30 (受付開始 13時)

場所 コミュニティ・プラザ2階 大会議室

テーマ・詳細は「議会だより2月号」等に掲載予定



NEWS

Facebook
随時更新中！



富士見町議会ではFacebookを随時更新中
です。一般質問や本会議の情報を確認いただけ
ます。ぜひご活用ください。

議会活動、全員協議会のスケジュールは
ホームページをご覧ください。

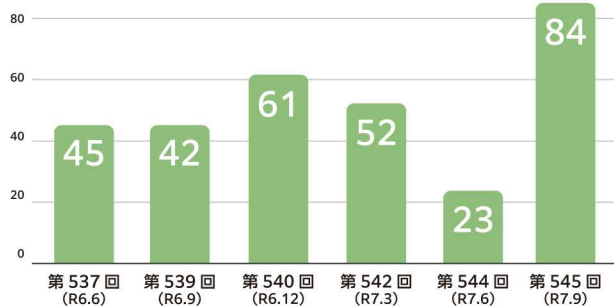


議会を傍聴しませんか？

12月定例会(予定)

11/27	木	開会・議案説明
11/28	金	質疑
12/1	月	一般質問
12/2	火	📞 予約制の託児も利用できます
12/3	水	常任委員会
12/10	水	討論・採決・閉会

これまでの傍聴人(定例会) 単位:人



POST
SCRIPT

編集後記

5月臨時会、6月定例会と3名の議員の欠員があり、7月末の補
欠選挙を経て全議員が揃いました。通常とは異なる状況が2ヶ
月ほど続いたため、定数が揃う日常に戻りほっとしています。国
政選挙や町議選の補欠選挙、町長選挙が行われていた7月から8
月にかけての1ヶ月は、地方議会とは何か、二元代表制とは何か
を改めて考える期間になりました。議会の強みである「合議制」
を最大限活かし、その様子を町民の皆さんにお伝えできるよう、
引き続き努めて参ります。

議会広報編集副委員長 西 明子



議会Webサイト



議会チャンネル